



# 訪問看護ステーション新採用者育成のための支援

看護学科

武田 美津代 准教授

【研究分野】 訪問看護ステーション支援、リラクゼーション（マッサージ、セルフケア）  
 【キーワード】 訪問看護師養成、新採用者、在宅療養、看護技術（褥瘡・ストーマケア）  
 【URL】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=104take>



## 研究概要

県内の訪問看護ステーションの新採用者（新卒者および既卒者）は、訪問看護に関する専門知識や技術不足の不安を抱えながらも訪問看護に興味関心を持って勤務しています。しかし、新採用者に対して訪問看護ステーションごとに必要な教育プログラムを計画実施するのは困難であるため、新採用者が訪問看護を継続できるように半年間の「訪問看護師育成プログラム」の企画運営に携わりました。

同じプログラムで年に2回開講しており、各自で行うe-learningと集合研修で構成されています。研修で得た知識や技術を勤務の中で実践しながら理解を深め、一人前の訪問看護師として成長できるよう支援しています。

## 研究紹介

### 1. 新卒者等訪問看護師育成プログラム

埼玉県訪問看護ステーション協会と連携し、育成プログラム冊子を作成して新採用者を支援しています。

- 1) 講義内容：ポートフォリオ、訪問看護の制度、サービス提供の仕組み、リスクマネジメントなど
- 2) 技術研修：在宅医療技術（栄養管理、呼吸管理、排泄、採血など）
- 3) 事例検討：受講生全員が訪問事例について対象理解や訪問看護の実践を振り返り共有



### 2. 育成プログラム受講者の状況と支援

新採用者の多くが既卒者で、病院勤務を経て訪問看護に興味をもっています。子育て中の方が多く、自宅の近くに訪問看護ステーションがあることや夜勤がないことも訪問看護を希望する理由になっています。しかし、看護師経験があっても訪問看護の専門的知識や技術不足に不安をもつ者が多く、同僚や管理者（指導者）の支援を必要としています。集合研修では業務を離れて新採用者が同期として学べたり、事例検討では多角的な視点から対象理解のヒントを得たりしています。

育成プログラム冊子には研修や学習のスケジュール、実務の目安、技術評価、面談の機会などを提示し、受講者だけでなく管理者にもサポートの視点を示しています。自ら学習進度を確認できる、新採用者の状況把握できるなど計画的な支援につなげています。

## 講座テーマ紹介

- ケーススタディなど、実際の看護を振り返り対象者の理解を深めたり、看護を追究したりできるような検討会
- 原理原則を再確認しながらの看護技術に関する研修（清潔や排泄ケア、創傷処置など）の実践や検討会

## アピールポイントなど

看護に不安がある方に向けた研修プログラムや看護技術の研修など、学生への指導経験と皮膚・排泄ケア認定看護師の経験から一緒に支援内容を検討したいと考えています。